

議事概要

令和4年度 第1回宮城県地域職業能力開発促進協議会

1 日時

令和4年10月26日(水) 10:00~12:00

2 開催場所

仙台第4合同庁舎2階共用会議室

3 議題

- (1) 宮城県地域職業能力開発促進協議会の設置について
- (2) 第1回中央職業能力開発促進協議会(令和4年9月30日開催)の概要について
- (3) 令和3年度及び令和4年度の宮城県内における公的職業訓練(ハロートレーニング)の状況について
- (4) 令和3年度及び令和4年度の職業訓練実施状況について
 - ①宮城県の実施する公共職業訓練の実施状況について
 - ②(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構の実施する公共職業訓練の実施状況について
 - ③求職者支援訓練の実施状況について
- (5) リカレント教育を実施する大学等の取組事例について
宮城大学「みやぎテレナース育成プログラム」
- (6) 民間の職業紹介事業の状況について
- (7) 令和5年度 宮城県地域職業訓練実施計画策定に向けた方針(案)について
- (8) 公的職業訓練効果検証ワーキンググループの設置について
- (9) 人材開発支援助成金(人への投資コース)について
- (10) 質疑応答
- (11) その他

以上の議題について、報告及び説明を行い、全委員の承認を得る。

4 各委員の意見等

・大きな方針としてDX、IT関係のデジタル分野の訓練の促進が上げられているが、令和3年度の実績などを見ると、この分野では訓練への誘導等に難しさがあるのではないかと。訓練コースを充実しても集まらないということにならないよう誘導策をしっかりとやっていただきたい。

・一般的に介護分野は人手が非常に不足している分野にもかかわらず、応募がなかなかないという話をよく聞く。介護分野の訓練にはこういうコースがあるとか、このように就職できますよというような広報を強化していくこと、その先のきめ細やかなマッチング機能の向上・充実に取り組んでいただきたい。

労働条件、賃金面等の課題もあると思うが、そういう意味では産業界としても賃上げしやすい環境づくりが必要だろうと認識しているところである。

・デジタルの関係だが、中小企業の経営者の方々の話では、デジタル人材がないという話を聞く。ただ、詳しく話を聞くと、要はデジタル情報技術者を求めているのではなく、むしろそういう広範な知識をうちの会社に導入するに当たっての基礎知識がないということが課題となっている。

・IT開発というとプログラム開発をイメージしてしまうが、それはそれで一定のニーズはあるものの、もう一つ上のITを使った業務のマネジメントをどうするかということが産業界のニーズではないか。どの業務をどう開発するのか、そのためにはどういう技術があって、それによりどう業務を改善できるのかといったところを繋いでいく人材が今産業界の求めている人材ニーズであると思う。今後活かしていただきたい。

・宮城県では、中小企業のデジタル化対応に非常に力を入れており、昨年度から中小企業デジタル化補助金を作った。その中で企業の皆様の現状を知って、伴走支援を行うアドバイザー派遣等からひとつひとつやっている。ご意見のあった人材ニーズがボリューム的にあれば、そういった事業の中でやっていくのか、あるいは在職者訓練の中でやっていくのか、様々な切り口があると思うので、県として、また宮城労働局と相談しながら対応していきたいと思っている。

・県内でも、首都圏のIT系大企業の進出が急増しており、求人が非常に多くなっている状況であり、これら企業への労働移動が増えていることから、地元企業にとっては人材を確保していくための大きな懸念、課題になってくるとの説明があった。地方の労働移動や創出という意味ではすごくいい状況だと思う一方で、やはり賃金等に問題などもあり、「地方の中小企業もこのような状況だからがんばらないといけない」と言っていかなければならないと思いを聞いていた。なかなか一長一短だなと感じている。